

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

沖縄県立石垣青少年の家

1、基本チェックリスト

- 職員の就業前の体温測定 職員の手指消毒の徹底 職員のマスク着用（作業中以外）
- 施設内の手指消毒設備の設置 利用者への感染予防対策へ協力願いの周知

2、基本的な感染拡大予防策

(1)感染症防止のための利用者受入れの方法

①密にならないための対策

- ・利用前の打ち合わせ又は電話にて事前に、活動が密にならないようお願いします。
- ・施設利用人数を2m間隔がとれる人数に設定し、目安の人数を超える場合は分散しての活動を進める等、団体代表者と相談する。（利用の目安となる人数は、下記の表を参照。）

第一研修室	20名	大研修室	42名	宿泊室	9-10名	会議室	6名	炊飯場	40名	ピロティ	45名
第二研修室	14名	体育館	40名	風呂場	7名	リーダー室	7名	食堂	57名	ロビー	10名

- ・屋内、屋外に関わらず特別の理由がない限り、施設利用時間を最大4時間までとする。
- ・出来るだけ道具やコップ等の共有はさけていただき、大声を出さないようお願いします。

②発熱等の症状がある方の利用制限方法

- ・利用団体への事前打ち合わせにて、しっかり健康管理を行ってもらう様をお願いします。
- ・発熱や咳、体調不良等の症状がある場合は来所を控えてもらう。
- ・宿泊利用時も団体にて健康管理を行い、活動中は勿論、就寝前、起床後の健康チェックをお願いします。
- ・利用中でも感染疑いの者が出た場合は、活動を中止して退所して頂く。
- ・利用後2週間以内に発症者が出た場合は、石垣青少年の家に連絡して頂く。

③その他

- ・施設毎の手指消毒液の設置の他、それぞれトイレを含めた水場にも手洗い洗剤、手指消毒液を設置する。

(2)対人距離の確保の方法

①接触感染対策

- ・椅子や机等に離れて座って頂く様にチラシを貼り、自然とスペースが取れるようにする。

②飛沫感染対策

- ・利用者と対面する受付には、透明ビニールカーテンで遮蔽する。
- ・施設案内を簡素化し、職員と利用者の接触を最小限にとどめる。
- ・マスク着用のお願いをし、運動時にマスクを外す際も咳エチケットを守ってもらうよう伝える。

(3)施設の換気対策

- ・窓は2か所以上開けておく。空調設備を利用する際にも2か所以上の開放をお願いします。

(4)施設・設備・物品等の消毒対策

- ・利用団体の受入れ前に、共有施設（ロビー等）の消毒を行う。
（特に人が触れるであろう机、いす、ドアノブ等は気をつけて消毒を行う。）
- ・広い施設の消毒には、噴霧器を使用する。
- ・利用受付時に退所チェック表と共に消毒セットを渡し、利用団体にて気になる所、触れた所の消毒をお願いします。（消毒セットの内容：消毒スプレー、使い捨てビニール手袋、タオルペーパー）

(5)その他基本的な感染拡大予防策

- ・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う